



よいた

町だより 町長川上平吉

No. 72 6月号

昭和47年6月10日 発行／与板町 (代表者与板町長川上平吉) 編集 与板町だより編集委員会



早く芽を出せ……

心は期待と不安でいっぱい (小学校1人1鉢運動)

1日の「あゆの解禁」にはじまり、いよいよ夏を迎えるシーズンです。彼岸すぎから、しだいに長くなつてきた昼間の時間が21日夏至の日にはいちばん長くなります。また月なかばごろから本格的な梅雨にはいります。梅雨にはいと、じめじめした雨が降りつづきます。台風が梅雨前線を刺激して、集中豪雨を降らせ、日本のどこかで、必ず大きな災害を出し、毎年とうとい人命がうばわれています。水害に備えて、家のまわりなど、いざというときの対策には万全を期しておきましょう。

一方、食中毒がおきやすい時期でもあります。台所の清潔、食器・ふきんなどの熱湯消毒を心がけましょう。

人口の動き

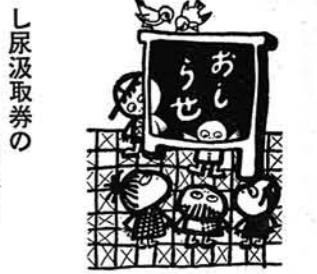
5月31日現在	
()は4月末との比較	
人口	7,958人(+9人)
男	3,858人(-9人)
女	4,100人(+18人)
世帯	1,804 (-3)
出生	13人
死亡	5人
転入	20人
転出	19人

災害は忘れた頃に	2
日赤奉仕団の年中行事	2
夏・蚊・日本脳炎	3
天皇・皇后両陛下御通過	3
でんでんコーナ	3
家を新築したい方	4
元気なおじいさんも	4
春の消防演習	4
学校かけずりまわり記	5
ポストコーナ	5
与板の歴史をたずねて	5
保健衛生だより	6
お知らせ	6

おもな内容は

保健衛生だより

- 6月19日(月) 13時30分～15時
乳児検診 母子センター
対象者 S.46.10.1～S.47.4.1 出生児
- 6月20日(火) 13時30分～15時
三種混合(1回目) 母子センター
対象者 S.46.6.1～S.46.12.31 出生児
- 6月21日(水) 13時30分～15時
三種混合2期 母子センター
対象者 S.45.1.1～S.45.5.31 出生児
- 7月4日(火) 13時30分～15時
一般相談 母子センター
対象者 一般
- 7月5日(水) 13時30分～15時
妊婦検診 母子センター
対象者 一般妊婦
- 7月12日(水) 13時30分～15時
乳児検診 母子センター
対象者 一般乳児
- 7月13日(木) 13時30分～15時
三種混合(2回目) 母子センター
対象者 S.46.6.1～S.46.12.31 出生児
- 成人病1次検診
6月13日(火) から6月16日(金) まで
7月18日(火) から7月21日(金) まで



し尿採取券の取扱所は

みなさん、バキュームカーを頼んで、汲取ってもらった後は料金をどのように御支払っていますか。
バキュームカーにはメーター器がつけてあります。汲取り前後の確認により「汲取券」にて御支払いください。現金での支払いは行なわないでください。
し尿採取券の取扱所は町に二十一ヶ所あります。ぜひ御

- 利用ください。取扱所名
- 倉谷 下長 泉馬 稲北 南新 東与 堂中 舟安 上蔵 横堤 倉
 - 丁丁丁 丁丁丁 丁丁丁 丁丁丁 丁丁丁 丁丁丁 丁丁丁 丁丁丁 丁丁丁 丁丁丁
 - 佐岩小 浜吉大 堀藤 坂久 久皆 永久 小星 米渡 笠佐
 - 木本林 田田平 井垣 保住 川井 住原 小林 製作 光光 泰英 一
 - 康政正 雅一 秀政 正勝 喜久 誠峰 健良 栄光 光泰 英一
 - 夫一通 夫夫 栄博 介治 治造 蔵三 一夫 男啓 明昭

失業保険受給の皆様へ
働いた日や、内職、手伝いをした日は忘れないようにメモしておき、認定日に必ず申告しましょう。
薬劑散布に協力を
町内一斉薬劑散布が今年も青年団員の協力によって実施されます。
散布の日には町の広報車にてお知らせいたしますが散布が円滑にできますよう次のことについて特段のご協力を願います。
家の周囲を整理整頓しておいてください。(特に物干しざお、針金、植木ばち等)
電灯は消さないで、家の周囲を明るくしておいてください。

- 池の魚に悪い影響を与えるおそれがありますので、おおいをしておいてください。
- 一、試験日と試験地
学科試験は八月十九日(土) 高岡市にて
設計製図試験は十月二十二日(日) 富山市にて
 - 二、申込受付期間
昭和四十七年六月十日から六月十六日までです。
 - 三、申込方法
県建築士会(新潟市白山浦山ビル六階)で受験案内、受験申込書を一部一〇〇円で頒布しております。これにより建築士会へ申込みください。
 - 四、設計製図の課題
昭和四十七年八月一日付け官報で公告されます。

とじて保存して下さい

災害は忘れた頃にやってくる



10年前の災害は 2度といや

降雨期の災害対策

六月は初夏から真夏への移りかわりの季節です。一年中で一番日足が長くなり、日射しも強くなつてきます。野山は緑一色で、とんぼや、はるせみが姿をみせます。ところどころで、十一日は暦の上での入梅。年によつては多少の早いおそいがあります。新渥気象台では「六月十二日頃から梅雨に入り七月十八日頃が梅雨明けとなり、六月下旬と梅雨明け頃とを境によつては大雨が降る恐れがあります」と発表しております。

六月の気象災害は、梅雨前線の活動による豪雨の被害、雷雨に伴う降ひょうによる被害などがあります。昭和三十六年の水害からもう満十年が過ぎましたが、あの時の惨状が生々しく思い出されます。二度とあんな災害は御免ですが災害はいつやつてくるか判りません、そこで次のことを充分考え特に人命尊重を第一にいたしましょう。

堤防の決壊や山崩れによる危険をさけるよう常に注意し特に堤防沿え、山沿えの地域は雨の降り具合、水の増し具合に気をつけ万一危険な状態が判つたらすぐ町内委員長が役場へ知らせてください。万一危険と思われた場合は早急に安全地帯や避難所に避難するようにしましょう。避難はいつでも出来るように今から身の廻り品をまとめておきましょう。(たとえば家庭医薬品、貯金通帳、印鑑、保険証書等) 当面の食糧として最少限二日分位はいつでも持ち出され

七月十日は与板町交通安全町宣言日

交通事故のない明るい町に致しましょう。



るようになっておきましょう。避難の場合持ち出すものは出来るだけ少くして、身軽な体で避難しましょう。又、老人や子供は必ず手をひいてやりましょう。出来ればトランジスタラジオ、懐中電気なども身の廻り品に入れておくべしで避難は一刻を争う場合が多いので、町内委員長、消防団役員、警察官等の指示に従うようにいたしましょう。避難所の指定については、町ではあらかじめ次の所を避難

日赤奉仕団の年中行事

五月二十八日、朝からリズムミカルなミンソンの音、切れ味のおそろいなハサミの音、それに笑顔……又、真剣その物十数人のお母さん方がせつせつと白い布を何かに仕立てて、老人ホームへ贈るのだと一生懸命。

それは白い山となるほどに沢山の○○○、用便の不自由なお年寄りにつかってもらうのだと、気持ちよさそうな顔と手つき。この集まりは、日赤奉仕団が毎年行なっている「おむつづくり」でした。この他に、療養所・老人ホーム・コロニー慰問、採血者確保活動、各種講習研修会、別院境内清掃などと活発である。

所としてお願いしてありますので万一の場合はここへ避難してください。榎原公民館、山沢宝寿庵、堤下法立寺、横町八幡様・長明寺、仲町明元寺、馬場丁小学校・徳昌寺、東与板別院・中学校、稲荷町恩行寺、本与板光西寺・円満寺・公民館、馬越光源寺・岩越公民館、広野公民館、南中保育所、葛都公会堂、

☆☆☆☆
梅雨時になると
☆☆ 思い出す歌
☆☆
☆ 雨すだれ……
☆☆ 雨すだれ……
☆☆ 今日この頃である。
☆☆ ペンチ君のまわり
☆☆ スイガラでいつぱい！
☆☆ そんなことより、君の足元なんか 犬君の……
☆☆ 今はやっている「あつしには……でござんす」とはゆかないよネー
☆☆
☆☆ ぼく達は見てしまつて
☆☆ いるのだから
☆☆ (バス停の話)

夏・蚊・日本脳炎

この世の中に生れた人は、みんな健康なからだで毎日わたのしく意義ある人生を過したいという願いをもっております。

いよいよ夏、この季節にかりやすい病気に消化器系に赤痢、下痢、腸炎、食中毒と皮膚系に水虫、たむし、あせも、とびひ、それに日本脳炎、寝びえ、百日せきとあります。夏は日本脳炎の予防接種の日程を次の通り計画しました。

六月二十七日(火)
二十八日(水)

七月六日(木)
会場は母子センター
午後一時半から三時まで、三才以上の申込者のみ接種を行ないます。

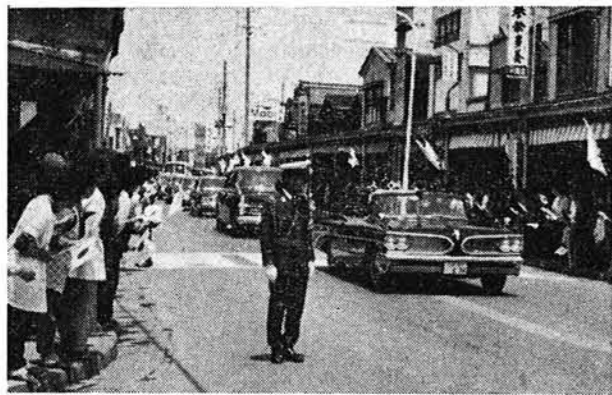
日本脳炎とは 日本脳炎が夏に起こる法定伝染病であり、その病原体が日本脳炎ウイルスであること、そしてこのウイルスがコガタアカイエカによつてつたわり、ひろまることは今日ではもはやだれもが周知の事実であります。またこのような事が明らかにされるまで

には長い間の調査研究の歴史のある事をご承知のことと思ひます。しかし日本脳炎についてはまだ謎になつていられる部分も多いので、多くの人がさらに地味な研究を続けているのです。結論的に申しますと、日本脳炎にかからない様にするために、少くとも日本に住む限り、日本脳炎ワクチンを正しく使用する他には適当な方法がないといひ切つても誤りではありません。日本脳炎と言ふ病名から日本固有のものと思われがちですが、この疾病は東南アジア・中国・シベリア沿海州にかけ存在し、従来はいろいろの名で呼ばれていたのですが昭和二十三年に「日本脳炎」という呼称に統一されたものです。

日本脳炎の症状は、突然の高熱、頭痛、頸部硬直、嘔吐の髄膜刺激症状がつづいて意識障害がいれんなどの脳

症状が表れて、死亡例の約半数は第四～七病日に起こり、この時期を過ぎると熱は次第に下降し他の症状も回復は不良です。一般に発病者の予後は神経系後遺症を残し、全治は約70にすぎないといわれています。

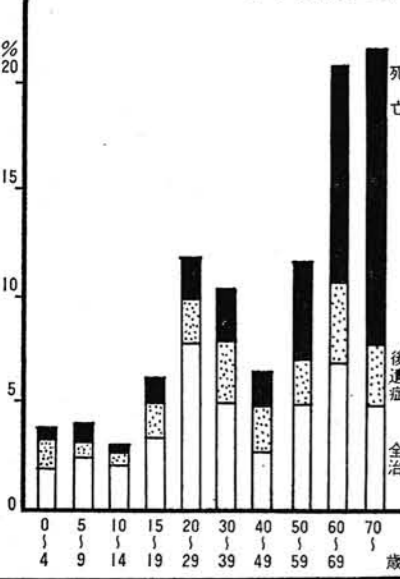
「これは便利で無料」
一「盲人用ダイヤル盤」
目の不自由な加入者の方に、正確に、しかも早くダイヤルすることが出来る「盲人用ダイヤル盤」を、無料でお取り付けいたします。
ニツケルメッキの金属板に、3・6・9の方向に突起がありますから、目の不自由な人も、これで正しいダイヤル数字が識別できるので喜ばれています。
ご希望の方は電報電話局までお電話ください。
二「代表番号扱い」
お店に電話を、二本以上お持ちの方には、別に料金等はかからない「代表番号扱い」をおすすめします。
そのメカニズムは……取引先に代表番号をPRする……お得先きはあなたの代表番号をダイヤルする……ダイヤルした番号が話し中のときは空いている番号に自動的につながる……(お得先きはかきなおす必要がなくなる)……
あなたの電話はこれでかきやすくなり、名刺にも電話(代表)○○○○と、おもみができます。



天皇・皇后両陛下御通過

第23回全国植樹祭およびお手播行事に御出席された天皇・皇后両陛下は、24日県内御視察途中、全町民がうちふる国旗の奉迎をお受けになり、三島町へと御通過になりました。

図1 日本脳炎患者の年齢分布と予後(1966)



意識	全治	後遺症	死亡	計
正常	171 (77.7%)	41 (18.6%)	8 (3.6%)	220
傾眠	157 (59.2%)	65 (24.5%)	43 (16.2%)	265
昏迷	217 (45.6%)	120 (25.2%)	139 (29.2%)	476
傾睡	129 (16.1%)	149 (18.6%)	525 (65.4%)	803
計	674	375	715	1,764

後遺症	身体障害	精神障害
重症	53	52
中等	83	115
軽症	167	166
なし	74	56
記載なし	59	47

六月二十五日
第十回県身体障害者体育大会
与板高グラウンドで
この大会の目的は、身体障害者がスポーツを通じて体力の増強、機能の回復、残存能力の向上を図り、明朗快活、積極的な性格と協同精神を養い、自立更生の実を挙げ明るい生活形成をつくることにも一般社会の正しい認識を図ることです。御協力願います。

住宅金融公庫では皆様のマイホーム建設に「個人住宅建設資金」がお手伝いを致します。

この資金は、住宅に困つていて資金もじゅうぶんに準備してない人が、住宅を新築しようとするとき、その新築のために要する資金の一部を低利、長期で利用できるもので

なお詳しくお知りになりたい方は公庫が委託した金融機関（「住宅金融公庫業務取扱店」「住宅金融公庫受付取扱店」の表示あり）、県与板土木事務所建築係又は、役場土木課にお問い合せください。

家を新築したい方 住宅資金を借りるには

- (イ) 自分が住むための住宅に困つており、同居家族（予定を含む）があること。(ロ)自己資金の準備が必ずでき、貸付金の返済が確実にできること。
- (入) 収入月額、当初償還金の六倍以上あること。
- (ハ) 住宅を建てようとする敷地を持つているか、借地をしているか、あるいはそれらの見込みが確実であること。
- (ニ) 確実な保証人（申込者と同等以上の収入があること）があること。
- (ホ) 六十五才以上の老人と同居し、住宅の床面積が八十平方メートル（約二千四坪）以上の場合には老人同居割増しの融資を致します。

- △貸付けを受けることのできる住宅▽
 - (イ) 専用住宅は、一戸当たりの床面積が三十平方メートル（約九坪）以上百二十平方メートル（約三十六坪）以下であること。
 - (ロ) 併用住宅は、住宅部分が全体の床面積の二分の一以上であること。
- △貸付金の利率と償還期間▽
 - ◎利率 年五分五厘
 - ◎償還期間 耐火構造は三十五年以内 簡易耐火は二十五年以内 その他の構造は十八年以内
- △償還の方法▽
 - 最後の貸付金の交付した月の翌月から元金均等割賦毎月払いとします。
 - △担保には▽ 貸付を受けて竣工した建物を担保に致します。
 - △申込みのさい提出する書類と申込み受付場所▽

申込みの用紙は公庫が委託した金融機関にありますから、所要事項記入のうえ、提出してください。

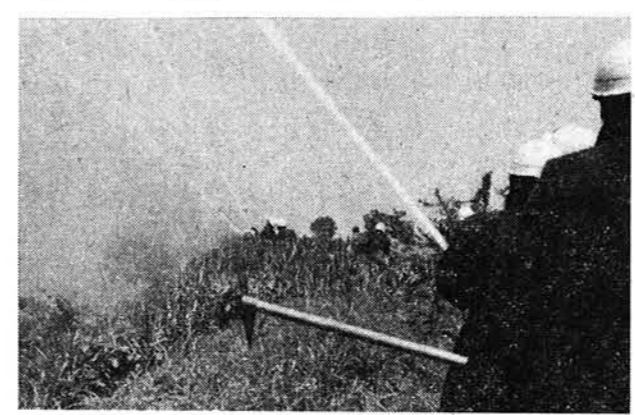
※申込書受理後、内容審査のうえ選考により貸付者を決定します。

国の資金ですから「金融機関と取引がなくては」などと心配する必要はありません。

毎月二十二日は
行政相談日です

行政全般に対する苦情や、相談意見に応じています。

会場 消防本部・和室にて
時間 午前九時から
午後三時まで



町を火災から守ろうと 春の消防演習

地域住民の防火思想の普及と消防職、団員の非常時に対する心構えの向上と防火体制の強化をはかり町を火災から守ろうと五月二十八日別院前の堤防にて春の放水演習が行なわれました。合同のサイレンと共にいっせいに放水、青空に円筒筒がかりその見事なこと、その消防力の頼もしさを確認することのできた一時でした。

五月には二・三の町内会でも放水栓における放水訓練、高校では避難訓練、このように日ごろの訓練が行なわれていれば、先日の大阪でのビル火災のようないたまじい被害はなかつたことでしょう。

元気なおじいさんも 町民ハイキングに

夜明けとともに、雲ひとつないハイキング日和。(五月七日)

子ども達もは出発時間前がまちきれず一時間前から公民館前に集つて受付参加

人員は百五十名。お父さんには背負われている子供からカツコイー登山スタイルのハイキング協会のお兄さん、ちよつとやせようかしらと若いお母さん、そして毎年必ず参加する元気なおじいさん。この人、新町の青柳長之助(七十九才)さん、大きなリュックに地下たび姿、手には杖と「与板山岳会」と書いた旗。お年寄りに負けてはと全員屋の肉汁を目標に元気に出発。

ぼく青になるまでまつよ (交通安全教室)

無理するな遠くに見えても車は速い

人の歩く速さは、1秒間に約1メートルの速さです。自動車は時速40メートルで、人の約11倍のスピードです。

11倍のスピード

学校かけずりまわり記

保育所の運動場、子ども達がすわつて(中には寝そべつたり、まアアそれぞれ、いろいろなカッパ)なにかワイワイガヤン。

大きな「ぬりえ」の製作中。「こどもの日」の準備とか、ワイワイガヤン。「先生、終つたよ、できたよ」と元気な声がバラバラ……。

サアアみんなで持つてステージの壁へ……だが「ビリビリ」と尾の方が切れた。サアア大変なこと……。

空にはまだ「こいのぼり」はどこにもない……。

五月になればきつと五月晴れの空に「鯉」がなかよく泳ぐことであろう。

四・二四・記 「卵はどこに、肉はどこ

魚は、野菜はどこ……はどこの店が安い、高いなどと現在、自炊生活をしている男の先生の言……なんともなく、偉い経済評論家の先生におもえた……?

四・二五・記 「中学校にペンキ屋さんが来ているよ……」それ一行つて見ると「床張りの終つた体育館に十数人の先生(経済学専攻?)が一生懸命コートづくり、頭のさがる思い。

四・二六・記 「またアア延期」「これで二度目よ」といろいろと……。「私が悪いのじゃ……」「空の状態が……」と説得。創立一〇〇周年記念の人文字航空写真を担当している先生、まつたくかわいそう。

五・二三・記 真新しいリュックサックに黄色い帽子の一年坊主、あの入学式のあどけなきほどこへやら(学校になれたきたな)お母さん、おばあさん心配そうに手をふつて送り出す。団体旅行の見習生、さぞ思い出深い一日になるだろう。修学旅行の出発風景。

五・二五・記

「三度目の正直」きつと明日は晴天、セスナ機も気持ちよく飛行することでしょう。

五・二三・記 中学校の行事は天候にまつてから雨が……。

陸上競技大会、つきについて、グラウンドコンディションの悪いにもかかわらず、好記録が続出。

新記録板を書く先生、脇見もせず一生懸命。筆をほこぶ手が忙しそう……。

与板の歴史とたずねて (六)

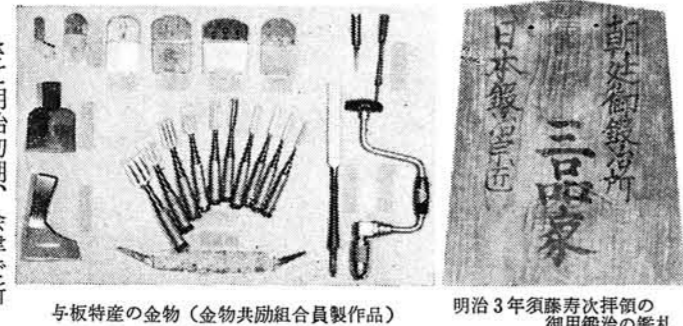
十八、明治の殖産興業と与板 (一)

明治政府は、近代国家をつくるために、立ち遅れてきた産業の育成に、特に力を入れました。日清・日露戦争の明治三十年代から四十年代には、日本の産業も世界的レベルに達したので、一方、各市町村では、その地方の特産に力を入れて、産業の開発が進められてゆきました。

明治時代の与板の特産として、古い歴史と伝統をもつ金物業と、雪を閉つて各地に売り出した雪積業、信濃川の堤外地に適する柳の栽培による杞柳業、などがあります。

金物業の発達

与板の特産、金物業はその歴史古く、金物共助組合の小林繁雄理事を中心に、組合の方々の調査研究によりますと、古くは上杉謙信の重臣・本与板城主直江兼綱が刀剣師を招き刀剣製作を始め、さらに上杉景勝の家老・与板城主直江兼統が鉄を出雲や播磨方面より運び、刃物や鉄砲の製造を行ないました。くだつて江戸時代、井伊藩主の産業の育成によつて、刃物鍛冶が広



与板特産の金物(金物共助組合員製作品) 明治3年須藤寿次拝領の御用鍛冶

土肥惣藏・柿倉豊次などは、大工道具金物業は専業化してゆきました。明治二十年に火取取締りで鑑札を受けた者が八かんなVのみのみVのこぎりVの農具VのさみVの十四名おり、徒弟も次第に増加したのです。

明治四十四年には、与板金物共助会が設立され、会長に田村栄松がなり、会員七十数名で、会員の親睦・徒弟の教育・製品の改良進歩などを目的としました。

明治四十年代より大正年代にかけて、技術の進歩・業者の増加により一層の発展をみたのです。燃料は木炭よりコークスに、鍛接には砲酸を使用し、中には蒸気ハンマーを使用するなど、業者の研究・努力によつて与板の金物は全国的に知られるようになりまし。勿論、時代の移り変りとともに、色々苦難の道も多かつたのです。大正年間の不景気・税金の特別戸数割の負担、昭和年代の軍事産業による打撃、等々ありましたが、業者の非常な努力によつて、今日全国生産の五割前後をしめるに至つたのです。このように数百年の歴史をもち、今日なお町の主要産業として発達していることは、全国にもめずらしいことなです。



つゆどきです 雨から守る郵便受箱を

つゆどきは郵便外務員にとつていちばん気を使う時期です。特に留守で郵便受箱がないご家庭などへ配達する場合は、玄関の戸のすき間などに差し込んだりして配達しなければなりません。このため配達後に郵便が風にとばされたり、雨でぬれてしまうのでないかいつも神経をつかつております。

郵便受箱は、郵便を風雨から守るばかりでなく配達場所をはつきりさせてくれます。郵政省標準規格の受箱は、ほとんどの郵便を収容できますから、大型の郵便が留守で配達できないということもありません。さらに、受箱に家族名、同居人氏名を記入していただければ、まちがつて配達することもあります。まだ取りつけてないご家庭はぜひお取りつけください。

郵便受箱設置率82.8%、郵政省では44年4月から5か年計画で全家庭に受箱を設置していただくよう運動していますが、与板局区内は70% (信越管内82.8%) で信越平均よりも下まわつていますので、なお一層のご協力をお願いいたします。

さて明治初期、会津で新技術を学んだ、真島弥右衛門・龍眠斎・佐藤造吉・洪木藤松や、棚橋孫次郎・洪木又吉は八かんなVの製作を行ない、金物業発達の基礎をつくつたのです。また

小坂 覚